

これから初習言語科目の説明をします。

人文学類

初習言語科目については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明がありますので、ここでは必修単位の修得方法を中心に、重要なポイントだけお話しします。

まず必修単位について説明します。『履修案内』の56ページを開いてください。人文学類の初習言語科目の必修単位は8単位です。初習言語科目は1科目2単位ですので、必修8単位を修得するためには、同一の初習言語を4科目履修しなければなりません。

初習言語科目はGS科目やGS言語科目とは異なり、前期・後期の2学期制で開講されません。

初習言語を初めて学ぶ人は、1年前期にA1とA2、後期にA3とA4を履修して、1言語必修8単位を修得するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期A1の続きが後期A3、前期A2の続きが後期A4となっています。

開講の仕方には2種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104ページの時間帯表に開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当しますが、開講時間帯に少し違いがあります。『履修案内』104ページの時間帯表を見てください。人文学類の皆さんは、ドイツ語は火曜3限と木曜3限に、フランス語と中国語は火曜2限と木曜3限に履修します。ドイツ語・フランス語・中国語の履修に関して共通する注意事項は、A1とA2の授業が、決まった組み合わせのセットで開講されるということです。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認してください。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA3とA4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA1とA2のどちらか一方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A1からA4まで、4科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語は時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語はA1とA2がセットで開講されるわけではありませんし、後期のA3とA4は、前期のA1とA2と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1年前期にA1、1年後期にA2というように、他の初習言語とは全く異なる履修になります。また、ギリシア語A1・A2とラテン語A1・A2を並行して履修して、あわせて「西洋古典語8

単位」で必修単位とすることも可能ですので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語のA3とA4は、それぞれA1とA2の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期にA1を履修して「不可」と評価された人は、後期にA3を履修することができません。もう一度、A1を履修してください。なお、前期のA1で「保留」という評価を受けた人は、後期、A3の授業を継続して履修することができます。

4月5日・6日の13時から16時までA3講義室で初習言語履修相談会が行われます。ここではセット開講に関する詳しい情報なども得られます。初習言語の選択に迷っている人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

法学類

初習言語科目については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明がありますので、ここでは必修単位の修得方法を中心に、重要なポイントだけお話しします。

まず必修単位について説明します。『履修案内』の58ページを開いてください。法学類の初習言語科目の必修単位は8単位です。初習言語科目は1科目2単位ですので、必修8単位を修得するためには、同一の初習言語を4科目履修しなければなりません。

初習言語科目はGS科目やGS言語科目とは異なり、前期・後期の2学期制で開講されません。

初習言語を初めて学ぶ人は、1年前期にA1とA2、後期にA3とA4を履修して、1言語必修8単位を修得するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期A1の続きが後期A3、前期A2の続きが後期A4となっています。

開講の仕方には2種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104ページの時間帯表に開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当します。『履修案内』104ページの時間帯表を見てください。法学類の皆さんは、火曜2限と木曜3限に履修します。ところで、ドイツ語・フランス語・中国語の履修に関しては、共通する注意事項があります。A1とA2の授業が、決まった組み合わせのセットで開講されるということです。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認して下さい。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA3とA4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA1とA2のどちらか一方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A1からA4まで、4科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語は時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語はA1とA2がセットで開講されるわけではありませんし、後期のA3とA4は、前期のA1とA2と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1年前期にA1、1年後期にA2というように、他の初習言語とは全く異なる履修になりますので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語のA3とA4は、それぞれA1とA2の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期にA1を履修して「不可」と評価された人は、後期にA3を履修することができません。もう一度、A1を履修してください。なお、前期のA1で「保留」という評価を受けた人は、後期、A3の授業を継続して履修することができます。

なお、4月5日・6日の13時から16時までA3講義室で初習言語履修相談会が行われます。そこではセット開講に関する詳しい情報なども得られます。初習言語の選択に迷っている人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

経済学類

初習言語科目については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明がありますので、ここでは必修単位の修得方法を中心に、重要なポイントだけお話しします。

まず必修単位について説明します。『履修案内』の59ページを開いてください。経済学類の初習言語科目の必修単位は8単位です。初習言語科目は1科目2単位ですので、必修8単位を修得するためには、同一の初習言語を4科目履修しなければなりません。

初習言語科目はGS科目やGS言語科目とは異なり、前期・後期の2学期制で開講されます。

初習言語を初めて学ぶ人は、1年前期にA1とA2、後期にA3とA4を履修して、1言語必修8単位を修得するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期A1の続きが後期A3、前期A2の続きが後期A4となっています。

開講の仕方には2種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104ページの時間帯表に

開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当しますが、開講時間帯に少し違いがあります。『履修案内』104ページの時間帯表を見てください。経済学類の皆さんは、ドイツ語は水曜3限と金曜3限に、フランス語は水曜3限と木曜4限に、中国語は火曜3限と水曜3限に履修します。フランス語はA1とA2が1クラスずつですが、ドイツ語と中国語は複数のA1とA2があり、それが決まった組み合わせのセットで開講されていることに注意してください。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認してください。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA3とA4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA1とA2のどちらか一方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A1からA4まで、4科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語は時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語はA1とA2がセットで開講されるわけではありませんし、後期のA3とA4は、前期のA1とA2と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1年前期にA1、1年後期にA2というように、他の初習言語とは全く異なる履修になりますので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語のA3とA4は、それぞれA1とA2の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期にA1を履修して「不可」と評価された人は、後期にA3を履修することができません。もう一度、A1を履修してください。なお、前期のA1で「保留」という評価を受けた人は、後期、A3の授業を継続して履修することができます。

なお、4月5日・6日の13時から16時までA3講義室で初習言語履修相談会が行われます。そこではセット開講に関する詳しい情報なども得られます。初習言語の選択に迷っている人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

学校教育学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明が

あります。

学校教育学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。

初習言語科目はG S科目やG S言語科目とは異なり、前期・後期の2学期制で開講されます。

初習言語の初級はA 1、A 2、A 3、A 4という科目区分で開講され、1学期の履修でそれぞれ2単位が認定されます。前期にA 1とA 2、後期にA 3とA 4を履修するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期A 1の続きが後期A 3、前期A 2の続きが後期A 4となっています。

開講の仕方には2種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104ページの時間帯表に開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当しますが、開講時間帯に少し違いがあります。『履修案内』104ページの時間帯表を見てください。学校教育学類の皆さんは、ドイツ語は水曜3限と金曜3限に履修します。フランス語と中国語は、前期は月曜5限と木曜4限、後期は月曜1限と水曜5限に履修します。フランス語と中国語はそれぞれA 1とA 2が1クラスずつですが、ドイツ語は複数のA 1とA 2があり、それが決まった組み合わせのセットで開講されていることに注意してください。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認してください。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA 3とA 4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA 1とA 2のどちらか一方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A 1からA 4まで、4科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語には時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語はA 1とA 2がセットで開講されるわけではありませんし、後期のA 3とA 4は、前期のA 1とA 2と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1年前期にA 1、1年後期にA 2というように、他の初習言語とは全く異なる履修になりますので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語のA 3とA 4は、それぞれA 1とA 2の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期にA 1を履修して「不可」と評価された人は、後期にA 3を履修することができません。もう一度、A 1を履修してください。なお、前期のA 1で「保留」という評価を受けた人は、後期、A 3の授業を継続して履修することができます。

以上は初習言語を8単位分履修する場合の注意ですが、ほかに、初習言語を4単位分履修したいという人がいるかもしれません。その場合は、『履修案内』〇ページの「選択科目として4単位分を履修する場合の注意」をよく読んで、履修計画を立ててください。ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮語には後期に開講するA1とA2もあります。

なお、4月5日・6日の13時から16時までA3講義室で初習言語履修相談会が行われます。そこではセット開講に関する詳しい情報なども得られます。初習言語に興味関心のある人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

地域創造学類

初習言語科目については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明がありますので、ここでは必修単位の修得方法を中心に、重要なポイントだけお話しします。

まず必修単位について説明します。『履修案内』の61ページを開いてください。地域創造学類の初習言語科目の必修単位は8単位です。初習言語科目は1科目2単位ですので、必修8単位を修得するためには、同一の初習言語を4科目履修しなければなりません。

初習言語科目はGS科目やGS言語科目とは異なり、前期・後期の2学期制で開講されます。

初習言語を初めて学ぶ人は、1年前期にA1とA2、後期にA3とA4を履修して、1言語必修8単位を修得するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期A1の続きが後期A3、前期A2の続きが後期A4となっています。

開講の仕方には2種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104ページの時間帯表に開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当しますが、開講時間帯に少し違いがあります。『履修案内』104ページの時間帯表を見てください。地域創造学類の皆さんは、ドイツ語は水曜3限と金曜3限に履修します。フランス語と中国語は水曜3限と木曜4限に履修します。フランス語と中国語はそれぞれA1とA2が1クラスずつですが、ドイツ語は複数のA1とA2があり、それが決まった組み合わせのセットで開講されていることに注意してください。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認してください。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA3とA4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA1とA2のどちらか一

方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A 1 から A 4 まで、4 科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語は時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語は A 1 と A 2 がセットで開講されるわけではありませんし、後期の A 3 と A 4 は、前期の A 1 と A 2 と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1 年前期に A 1、1 年後期に A 2 というように、他の初習言語とは全く異なる履修になりますので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語の A 3 と A 4 は、それぞれ A 1 と A 2 の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期に A 1 を履修して「不可」と評価された人は、後期に A 3 を履修することができません。もう一度、A 1 を履修してください。なお、前期の A 1 で「保留」という評価を受けた人は、後期、A 3 の授業を継続して履修することができます。

なお、4 月 5 日・6 日の 13 時から 16 時まで A 3 講義室で初習言語履修相談会が行われます。そこではセット開講に関する詳しい情報も得られます。初習言語の選択に迷っている人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

国際学類

初習言語科目については、『履修案内』の 48 ページから 55 ページに詳しい説明がありますので、ここでは必修単位の修得方法を中心に、重要なポイントだけお話しします。

まず必修単位について説明します。『履修案内』の 62 ページを開いてください。国際学類の初習言語科目の必修単位は 8 単位です。初習言語科目は 1 科目 2 単位ですので、必修 8 単位を修得するためには、同一の初習言語を 4 科目履修しなければなりません。

初習言語科目は G S 科目や G S 言語科目とは異なり、前期・後期の 2 学期制で開講されます。

初習言語を初めて学ぶ人は、1 年前期に A 1 と A 2、後期に A 3 と A 4 を履修して、1 言語必修 8 単位を修得するのが標準的です。授業内容については、多くの初習言語科目で、前期 A 1 の続きが後期 A 3、前期 A 2 の続きが後期 A 4 となっています。

開講の仕方には 2 種類あり、学類別に開講される科目と、全学類対象に開講される科目とがあります。学類別に開講される科目については、『履修案内』104 ページの時間帯表に開講時間帯が示されています。全学類対象に開講される科目については、別冊子の『共通教育科目 授業時間割表』の授業科目一覧表で曜日・時間帯を確認してください。

まず学類別に開講される科目について説明します。ドイツ語・フランス語・中国語がこれに該当しますが、開講時間帯に少し違いがあります。『履修案内』〇ページの時間帯表を見てください。国際学類の皆さんは、ドイツ語は火曜3限と木曜3限に、フランス語と中国語は火曜2限と木曜3限に履修します。ドイツ語・フランス語・中国語の履修に関して共通する注意事項は、A1とA2の授業が、決まった組み合わせのセットで開講されるということです。このセット開講については、シラバスの「授業の概要」または「その他履修上の注意事項や学習上の助言」の項目に記載されていますから、あとで確認してください。セット授業の見分け方としては、それぞれの時間割番号を見てください。小数点以下の数字が等しいものがセット授業です。

ドイツ語・フランス語・中国語では、前期から継続して後期にA3とA4を履修する場合には、前期と同じ先生の授業を受講してください。このようにA1とA2のどちらか一方が決まれば、一年間の履修計画が完成しますが、履修登録は、A1からA4まで、4科目すべて別々に登録してください。

次に全学類対象に開講される初習言語科目について説明します。ロシア語・朝鮮語・スペイン語・ギリシア語・ラテン語がこれに該当します。ただしスペイン語は時間帯によって優先学類があります。ロシア語・朝鮮語・スペイン語は、前期も後期も、複数の授業が開講されますが、スペイン語がセットで開講されるのに対し、ロシア語と朝鮮語はA1とA2がセットで開講されるわけではありませんし、後期のA3とA4は、前期のA1とA2と同じ時間帯の授業を継続しなければならないというわけでもありません。皆さんが時間割上、出席できる授業を自由に選んでください。ギリシア語とラテン語は、1年前期にA1、1年後期にA2というように、他の初習言語とは全く異なる履修になりますので、『履修案内』やシラバスで十分に確認してください。

ところで、初習言語のA3とA4は、それぞれA1とA2の単位を修得していないと履修できません。例えば、前期にA1を履修して「不可」と評価された人は、後期にA3を履修することができません。もう一度、A1を履修してください。なお、前期のA1で「保留」という評価を受けた人は、後期、A3の授業を継続して履修することができます。

なお、4月5日・6日の13時から16時までA3講義室で初習言語履修相談会が行われます。そこではセット開講に関する詳しい情報も得られます。初習言語の選択に迷っている人や、質問のある人は是非来てください。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

最後になりますが、初習言語を入学以前に学んでおり、初級クラスの途中から、または中級クラス、上級クラスから履修することを希望する人は、本日中に、基幹教育学務係まで申し出てください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

数物科学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

数物科学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説

明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

物質化学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

物質化学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

機械工学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

機械工学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、第3クォーターに開講されるA1、A2、あるいは2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

か。

電子情報学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

電子情報学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、第3クォーターに開講されるA1、A2、あるいは2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

環境デザイン学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

環境デザイン学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいと思われます。履修を希望する場合は、第3クォーターに開講されるA1、A2、あるいは2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

自然システム学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

自然システム学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、2年

前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

医学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

医学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいかもしれません。履修を希望する場合は、2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

薬学類・創薬科学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

薬学類・創薬科学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいと思われます。履修を希望する場合は、第3クォーターに開講されるA1、A2、あるいは2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。

保健学類

初習言語科目の登録については、『履修案内』の48ページから55ページに詳しい説明があります。

保健学類の皆さんにとって、初習言語は必修ではありませんが、この『履修案内』の説明を読み、時間に余裕があれば履修してください。ただし、履修上限により第1クォーターに初習言語を履修することは難しいと思われます。履修を希望する場合は、2年前期の履修を検討してください。またドイツ語、フランス語、中国語では、履修上限に含まれない「いしかわシティカレッジ」の授業も開講されています。

なお4月5日・6日の13時から16時まで初習言語履修相談会がA3講義室で行われますので、初習言語に興味関心のある人や質問のある人は是非来てください。具体的な履修登録の方法もその場で説明します。初習言語の選択に当たっては、本日配布した青い袋の中にある『初習言語ガイドブック』も参考にしてください。

以上で「GS 言語科目」、「初習言語科目」の説明を終わりますが、何か質問はありませんか。